

グレーチングに魅せられて

栃木県

福田

茂夫



相田みつを先生のご縁で鍵山相談役にご挨拶し、1992年相談役に掃除を教えてくださいました。床磨きでは、「嫌な所に手を付ける。嫌なことから逃げない。空いた手は自分を支える」などとお聞きして、私は涙が止まりませんでした。

2003年7月1日、新宿街頭清掃が始まりました。以来7年半の間、私は毎月前泊して足利から参加しました。第2回目で、相談役にグレーチングの掃除を教わりました。大きなスパナで開け、側溝の中の枯葉や煙草の吸い殻などをひざまずいて拾い出しました。ふと顔を上げると、目の前に巨大な都庁がそびえ立っていました。あーこの都庁を、グレーチングも支えているんだなあと思いました。私はこのとき以来グレーチングに魅了され、毎回担当しました。新宿コマ劇場周辺は最高に汚れてやり甲斐があり、魅力的です。グレーチングの鉄網の隙間にへばりついた脂ぎった泥。スクレーパーでかき落とすと、悪臭が鼻につきまます。相談役を真似て、

腹ばいになり顔を突っ込み、へドロと泥水を引き上げると、出るわ、出るわ：財布や注射針まで。歌舞伎町、いや日本が抱えている問題を垣間見た気がします。

普段誰にも見向きもされないグレーチング。関心を持ち、寄り添い、掃除をすると、グレーチングが輝き出します。「美しくしてくれてありがとう」声なき声を聴きます。

美しくなった歌舞伎町の路面が朝日に照らされ、光輝いてきます。たまらない静かな達成感が全身に沁みわたり、充実感で満たされ、背筋がまっすぐになり、そして足利に帰っていきます。これが「益はなくとも意味はある」ということでしょうか。

(326 0826 栃木県足利市借宿町281-12)

自分を守ると弱くなる 結果を求めない生き方

東京都

中村 なかむら

路佳 みちか

今まで掃除をはじめ、教師塾、被災地支援等、鍵山先生から学ばせていただいたことは数知れません。しかし、自分自身の実践と問われると、「○○をしました！」と胸を張って言えないことが現状です。

その根っこには、自分を守ることで自分を保とうとする自分がいるのだと思います。そのような中で、ふと鍵山先生の日めくりカレンダーを見ると「自分を守ると弱くなる」という言葉が目に入りました。

この2年間を振り返ると、コロ

ナでさまざまな活動や人との繋がりが増え、自分の心も制限していたように思います。日々の私たちの生活は、自分を優先にするのか、他を優先にするのか、この自我との闘いです。

自分さえよければいいという心の荒みの原因は、他でもなく自分自身であるということ、それを受け入れることが本当の強さだと思いました。

そして現代社会では、すぐに結果を求めます。しかし、気がつかないうちに自己中心的になりやすく、自分も結果を出すことに縛られていました。

鍵山先生の「すぐに結果を求めない生き方」とは、本当は「結果を求めない」という自分を出さない究極の自己否定の生き方だと

思います。

目に見える結果ばかりに囚われることなく、目に見えないところに真実があるということを鍵山先生に教えていただき、これから自分の生きる指針にしていきたいと思えます。

現在私たちは、まだ先行きが見えない混沌とした時代に生きています。どんなに世間が揺らいでも本質は変わりません。

急速な変化が求められるなかで、「変わらなければならぬもの」「変えてはならないもの」「私たちにとって『本当に大切なこととは何なのか？』」

そのことを自分自身に問い続けながら、また明日から一つずつ積み上げて参りたいと思います。

「一隅を照らす」 公衆トイレ掃除

埼玉県

伊藤 毅



4年前の春ころ、本庄市の某公園のトイレで用便を済ませて手洗いをしようとしたときのこと、洗面台が全体に黒ずんでいるのに気がつきました。

掃除はされていたようですが、表面的であり、見るからに長年の汚れでした。とっさに、鍵山先

生のトイレ掃除のことが頭をよぎりました。

数日後、クレンザーとスポンジたわしを持って掃除に行きました。長い時間黒ずんだ陶器を磨きました。しかし、少しは白くなったものの蓄積された汚れはなかなか落ちません。

何か良い方法はないものかと考えて、思い出したことは鍵山先生でした。約25年前寄居町の用土小学校長時代、講演をお願いしたご縁がありましたので、先生に電話でお聞きしました。

「サンドメッシュを使うといいですよ」と即答、さらにイエローハットで手に入ることも教えてくださいました。その翌日、何と先生からサンドメッシュが送られてきたのです。「使い残りがあ

りましたのでお送りします」との鄭重な添え書きもありました。その素早いお心遣いに感動して感謝感激でした！

早速、それで洗面台を磨いてみました。その威力たるや抜群。瞬く間に洗面台は新品のように真っ白くよみがえりました。その清々しさは何とも言えないもの。公園の片隅の小さな洗面台が美しくなって、公園全体がきれいになった気分になりました。

一瞬、伝教大師の言葉「一隅を照らす」が思い出されました。鍵山先生のトイレ掃除の実践に出会って、小さなことに気付く心が育まれたような気がします。今後身近なところで小さな実践をして、一隅を照らしていきたいと考えています。

続けてきてよかった新洗組

京都府

福井^{ふくい}

三千子^{みちこ}



毎週土曜日朝6時より、京都新洗組で、木屋町三条から四条までのお掃除をしています。幸い自分たちの学区でもあり、一番近いところにおりますので、ありがたい限りです。

京都新洗組は2008年に発足し、早や14年になりました。最近は学区の皆さんとも仲よくな

り、元自治会長さんのご好意で、自治会のお部屋やお湯、そして道具入れの場所まで提供してくださるようになりました。

毎年地域の桜祭、夏祭の参加や高瀬川の舟引きのイベントのお手伝いもさせてもらっています。

学生さんを中心に、毎月のお誕生日会、忘年新年会、時には木屋町担当の府警さんも入られて、皆さんが仲良しです。毎年卒業時の「出発式」で学生さんたちを送り出すのは、淋しくもありますが嬉しい行事です。

学生さんは卒業後、転居した先の東京、博多、名古屋などで新洗組を作り、お掃除の輪を拡げ、続けてくれています。

10年前に、福井県永平寺の松岡中学校を見学したことがあり

ました。ひときわ印象に残ったのが、「15分無言清掃」でした。バケツ一杯のお水で部屋の隅々まで、要領よくきれいに拭き上げます。生徒も先生も、にこやかな挨拶が徹底されていて、制帽、カバン、上履きなどは整理整頓され、登下校時には校門で一礼されます。

全国の学力優秀校に毎年上位入賞しているそうで、さすががなーと思います。このことから「環境を整える、場を清める」は、つくづくすべての原点だと確信した次第です。

若い方たちのお手伝いをさせていただき、元気で一緒にお掃除できることを幸せに思う今日この頃です。

(604 8036 京都府京都市中京区三条通川原町

西入石橋町26)

鍵山相談役に学んだこと

神奈川県

中村 なかむら

秀信 ひでのぶ



(掃除の工夫) 道具は置き場所を決め、きちんと揃える。掃除の順序は上から下へ、風の強い日は風上から風下へ。雨の日はガードレールを磨く、道具を雨水で洗う。範囲を決めて徹底する。

(トイレ掃除) いかに少ない水

と洗剤で早く、きれいに仕上げるか。ゴミと水を混ぜない。汚れは大きく落として小さく磨く。汚れに近づく。

(なぜトイレ掃除か) 一謙虚な人になれる。二気づく人になれる。三感動の心が育まれる。四感謝の心が芽生える。五心が磨かれる。

(外回りの掃除) 歩道と車道の境目の砂や土を、なめるように掃き寄せる。グレイチング(排水溝)を徹底してきれいにする。流れるべきところが淀んでいると、水害の原因になり、景観を損ない、空気まで濁ってくる。

(凡事徹底の生き方) 骨身を惜しまない、持てる力を出し切る。大きな努力で小さな成果を、ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる。「終身路を譲るも、百歩

を枉げず」で、できるだけ譲る。不都合を受け入れる、謙虚な生き方を心がける、忍耐力を培う。自我を張らない、開き直ったらおしまい、迷惑をかけない、したたかな人間にならない、攀念智(ほんねんち、人を恨む想念を持たない)。

(掃除の効果) 環境をきれいにする、場がおだやかに、心の荒みをなくし、怒りを抑える効果があります。社風が変わり、会社が変わります。地域住民と仲良くなれます。

私は毎日、1〜2時間地域を掃除していて、まったくこの通りだと気づかされません。鍵山掃除道は「百術一清に如かず」です。

(210842 神奈川県横浜市神奈川区泉町
2-6-2F 社会福祉法人いずみ)

ひとつ拾えば ひとつだけきれいになる

熊本県

諸熊もろくま

弘毅こうぎ



十数年前、熊本掃除に学ぶ会の学校トイレ掃除や街頭清掃に参加し始めました。しかし9年前に体調を崩し、トイレ掃除が厳しくなって活動から遠ざかり、また車の運転もままならぬようになり、孫との散歩にも自信がなくなりました。

4年前、こんな私でも何かお役に立ちたいと思いついたのが、ひとりゴミ拾いでした。まず、孫と行く近所の児童公園とその道すがらのゴミ拾いを始めました。

わずかな量なので、苦にならずほぼ毎日続けていました。鍵山先生の「ひとつ拾えばひとつだけきれいになる」を実感しました。そのうち、次第に距離を伸ばすようになりました。

ある日の午後、下校中の小学1年生の男の子が、後ろから私のほうへ近づいてきました。手に、拾い上げた紙くずを持っていました。その子は、走って自宅と思われる家に「ただいま」と入っていききました。私のゴミ拾いを見ていたのでしょう。私たちの後ろ姿を見て育ってくれている。ああ、

この子たちがいれば、将来は大丈夫だ。わが家から1キロ四方に小学校が4校あります。私は翌日から通学路のゴミ拾いをするようになりました。

その後、私と同じようにゴミ拾いをする青年から声をかけられました。彼とは週に一回は一緒に活動するようになりました。

そのうち、ツツジの街路樹を覆う雑草が気になりだし、その草むしりも始めました。始めて3年目ですが、最近ではゴミは減り、ツツジの若葉も多く見られるようになりました。

私の体調もかなり回復してきました。「ひとつ拾えばひとつだけきれいになる」を実感している日々です。

(862-0924 熊本県熊本市中央区帯山7-1-1)

お掃除は家庭円満の秘訣

広島県

堀本^{ほりもと}

隼平^{じゅんぺい}



わが家は、私が呉南特別支援学校に、妻が広島県立呉特別支援学校に勤務しています。

2010年3月、「広島木鶏クラブ」に参加したとき、「呉掃除に学ぶ会」の佐々木一幸様に出逢いました。掃除に興味をもった私は、翌月妻と2歳の息子、0歳の

娘を連れてトイレ掃除に参加しました。井辻栄輔様、佐々木様に

お世話になりました。

私は、生活習慣を少しずつ変えていきました。今は毎朝学校のトイレ掃除で心磨きをしています。

また長い間草ぼうぼうで、白線も引けなかったグラウンドの草取り

をしたら、子どもの運動が盛んになりました。子どもたちの頑張り

や陸上専門の先生の指導のおかげで、全国大会に1年目に1名、

3年目には3名出場しました。

妻は、勤務先の図書室を、改装をきっかけに改善しました。不要

図書の処分やさまざまな備品を整理整頓して、子どもが読書に興味を持てるように工夫しました。

子どもの利用が増えたということで、ここにも掃除の力を感じて

います。

2018年西日本豪雨で、恩人の「日の出湯」が被災し、家族で

復興支援に行きました。スコップで土砂を土嚢袋に一つずつ詰める

根気のいる手作業でしたが、妻と息子の力強い応援で作業が終わり

ました。「日の出湯」は無事再開し、被災者やボランティアの方々に無料解放され、皆で喜び合いま

した。

「呉掃除に学ぶ会」に参加して12年、子どもたちは幼いころから

の学びにより心優しい子に育ったとうれしく、感慨深いものがあります。掃除を通じて家族は円満に

なり、微力ながら学校と地域のお役に立てていることに、大変感謝

しています。

東西文化融合の 小さな見本を示す役割

広島県

坂田

道信



私たちは30年の間に、お掃除を通して実に多くのことを学ばせていただきました。正に独自の人間生き方の人格を作る総合大学でした。

日本はユーラシア大陸の東端に位置していて、あらゆる文化がたどり着き混合。その中で、西

洋と東洋の文化をいち早く咀嚼、身に付けている古来からの独自の文化をもつていて、それを固持主張しない不思議な民族です。

それは西洋と東洋の文化を融合して人類後期の競争ではなくて、「奪い合いでなくて与え合う」世界へのいざないの役目を与えられているからでしょうか。

人類は今まで数回固有の特徴を持った文化で発展謳歌していますが、それは残された遺跡が十分に語っています。それを、奪い合い争い中心の人類史の前期としますと、心の融和の後史への乗り移りができなくて、改めて石器時代からやりなおした形跡があります。

日本民族はとりたてて資源がない国でありながら、早起きで勤

勉が身上、工夫発展してきました。労働は使役でなくて、人間形成の成長の糧として喜びの汗を流してきました。全ての人の日常は、朝飯前とか夜なべという言葉もあり、仕事は楽しく神の歌リズムに乗って歌い励みました。

あらゆる物に神を見だし創造しました。過日ブラジルでのお掃除一万人世界大会で「支援者覚書」が語られ、続いて「雑学支援者覚書の姉妹編」ができて、一部で熱心に読まれています。

先人の努力研鑽と宇宙先命（神）の意思に融合して、日本はいささかでも困難を乗り越えて、人類進歩発展に寄与する誇り高い使命が与えられているのではないかと思われれます。